

2025年11月10日
損害保険ジャパン株式会社

「全国まちづくり会議2025」への協力・登壇 ～埼玉県における大学、自治体、NPO、企業の連携～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、全国各地で活動する草の根まちづくり団体や、まちづくりの専門家、プランナー、企業、行政、研究者などが1年に1度交流することを目的として開催されている「全国まちづくり会議2025」（主催：認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会）へ協力し、2025年10月19日に埼玉大学社会変革研究センターレジリエント社会研究部門が開催した「地域レジリエント社会研究コンソーシアム地域防災減災コミュニケーションワーキング」の主体運営者として埼玉大学とセッションを実施しましたことをお知らせします。

1. 背景

近年、気候変動による自然災害の激甚化は、日本の地域社会における大きな社会課題であり、地域社会全体で災害への備えを強化し、レジリエンスを高めることが重要な課題となっています。損保ジャパンは、持続可能な社会の実現に向けた取組みとして、「防災ジャパンダプロジェクト※」など、平時からの防災教育を推進しています。この一環として、本年7月末に埼玉大学の社会変革研究センターレジリエント社会研究部門にて設立された「地域レジリエント社会研究コンソーシアム」において、損保ジャパンは設立準備段階から参画し、「地域防災減災コミュニケーションワーキング」において、埼玉大学と協働で主体運営を行っています。

※ 防災ジャパンダプロジェクト <https://www.sompo-japan.co.jp/csr/environment/eco/bousai/>

2. 概要

全国まちづくり会議2025は、2025年10月18・19日に芝浦工業大学大宮キャンパスにて開催され、延べ約600名の専門家、プランナー、企業、行政、研究者たちが集いました。

損保ジャパンは、2日目（19日）の午後、「地域レジリエント社会研究コンソーシアム 地域防災減災コミュニケーションワーキング」として、次のセッションを実施しました。

<セッション概要>

- テーマ：産学官民の連携で進める地域防災減災コミュニケーションとまちづくり
- 概要：地域防災減災とまちづくりをテーマに、逃げ地図等の事例から、産学官民連携の可能性と展望をディスカッション
- 登壇者：埼玉大学社会変革研究センターレジリエント社会研究部門・埼玉県・さいたま市・認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会・損保ジャパン埼玉中央支店



3. 今後について

SOMPOグループのパーパスである「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」を実現するため、あらゆるステークホルダーとの協働により、「損保ジャパンでよかった。SOMPOでよかった。」と言ってもらえる会社を目指し、地域コミュニティの強化し、災害に強い地域社会の実現に取り組んでいきます。



つなぐ・つながる
すべての人のしあわせと、サステナブルな未来を。

以上